

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104 - 130	小学校	算数	算数	1
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名		
11 学図	算数 116・117	みんなとまなぶしょうがっこうさんすう1ねん上・下		

1 編集の基本方針

わたしたちを取り巻く社会は、日々変化しています。子どもたちが、この先の変化の中でよりよい人生を歩み、よりよい社会を作りあげていく力を身につけていけるよう願っております。

その中で、算数という教科を通し、数学的・論理的な視点や思考を育みながら、さまざまな物事に対して多様に対応していき、他者とも協働的に取り組んでいけるようになってほしいと考えております。

この教科書では、そのような子どもたちを育てるために、教育基本法の理念に則り、主体的・対話的で深い学びを実現できるよう、以下のことに配慮しながら編集しました。

特色 1

みつける

身のまわりや、算数の学習の中から、問題を自らの力で「みつける」ところから、学びがはじまります。学びのはじまりは、生活の中や算数の学びの中など、至るところに潜んでおり、それらを見つめながら学習を進めることができるようにすることで、真理を求める態度を養い、自主及び自律の精神を養うことができるよう配慮しました。

特色 2

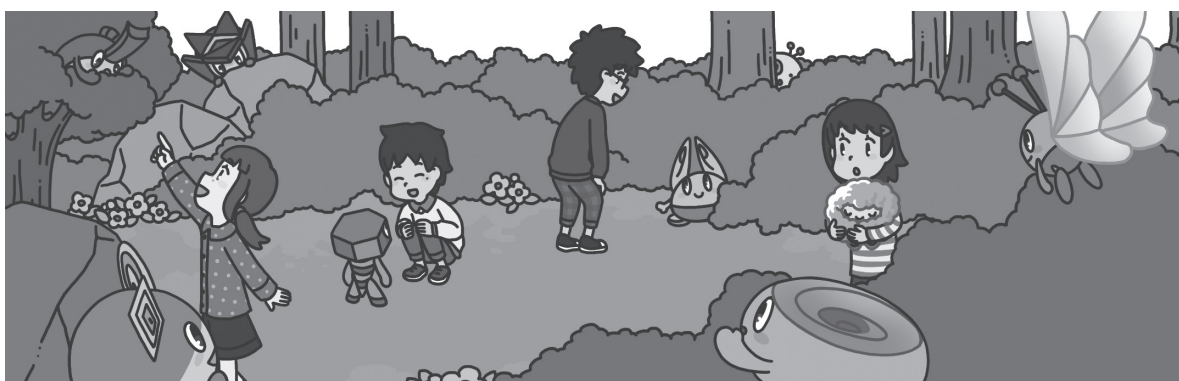
つながる

算数だけでなく、学びにはさまざまな「つながり」が大切になってきます。学びの中のつながりはもちろんのこと、人とのつながりにおいて話し合いや他者の意見を取り入れて、さらに自らの考えを発展させるなど、自他の協力を重んじながら、自らの能力を伸ばすことができるよう配慮しました。

特色 3

ひろがる

算数の世界は、子どもたちの身のまわりの至るところに潜んでいます。社会の中の算数、自然の中の算数、日本の中、世界の中へと、自分たちが身につけた知識がひろがっていくことを実感できるような題材を取り扱うことで、算数の世界がひろがっていく様子を子どもたちが実感できるよう配慮しました。





みつける

イラストや写真からみつける

イラストや写真などを観察しながら問題を見つけ、紙面のキャラクターとともに解決に向けて楽しみながら活動をする中で、自分たちの問題として取り組み、創造性を培い、協力を重んずる態度を養うことができるようにしました。



→上 p.2-5

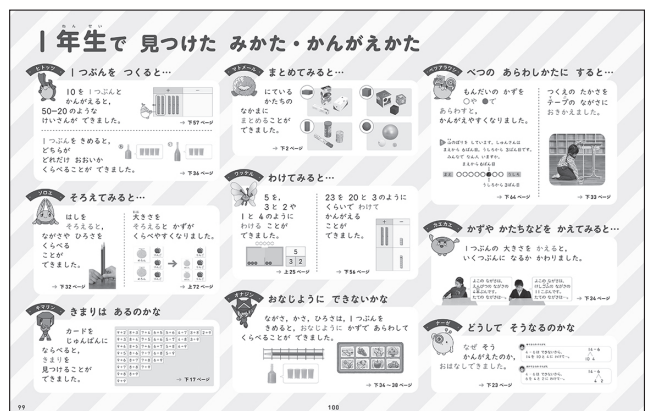
「見方・考え方」をみつける

問題に取り組むときに、さまざまな見方や考え方をしながら解決しようとしています。これらの「見方・考え方」は児童がすでにもっているものであり、「**かんがえかたモンスター**」として紙面に具現化したものを示すことによって、改めて自分の中にある「見方・考え方」を見つけていくことができるようになり、個人の価値や能力を伸ばし、創造性を培うことができました。

また、学年の最後では、その学年で見つけた「見方・考え方」をまとめるページを設定することで、これまで見つけてきた「見方・考え方」をまとめるとともに、どのような学習をしてきたかを振り返ることができるようにしました。



→下 p.97-98



→下 p.99-100

活動からみつける

算数の活動、生活の中での体験から問いを見つけ、それを算数の問題とすることで、算数がより身近に感じられるようにしました。

また、身近な課題を取り扱うことで、自らもいろいろな問題を見つけようとし、生活との関連を重視する態度を養うことができるようにしました。



→上 p.24



→下 p.30

特色 2 つながる

学びがつながる

学びの中で、児童が「こんなときはどうなるのか」、「同じようにできるのでは」などと自然に問いをもつことができるような構成としました。特に児童の問いが次の学びにつながるような場面では、「つながりの？」(児童の問い)を吹き出しの形で示すことで、次の学びへの関心・意欲が高まり、真理を求める態度を養うことができるようにしました。

2 つぎの けいさんを しましょう。

① 25 + 4 ② 36 + 2 ③ 70 + 5
④ 4 + 52 ⑤ 6 + 33 ⑥ 9 + 60

? ひきさんも たしさんとおなじように かんがえと できるのかな？

→下 p.56-57

3 いちごが 50こ ありました。 20こ たべました。 のこりは なんこですか。

1 しきを かきましょう。

大きな けい算を かきましょう

他者とつながる

さまざまな場面で他者の考えや意見を多様な考え方として示し、それらに触れる機会を設けたり、対話の場面を適宜提示したりしました。それらを可視化することで、個々で発見できなかった気づきや考えに触れることができるようになり、他者とのつながりを意識しながら学習を進め、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うことができるようにしました。

1 えを つかって あらわしましょう。

はるとさんの え さらさんの え

さらさんは どんな くふうを しているのかな。

ゆう

→上 p.46

1 ゆうさんと あかりさんの かんがえの つづきを おはなししましょう。

ゆうさんの かんがえ

4 - 6 は できないから、 14 を 10 と 4 に わけて…

$$\begin{array}{r} 14 - 6 \\ \wedge \\ 10 \quad 4 \end{array}$$

あかりさんの かんがえ

4 - 6 は できないから、 6 を 4 と 2 に わけて…

$$\begin{array}{r} 14 - 6 \\ \wedge \\ 4 \quad 2 \end{array}$$

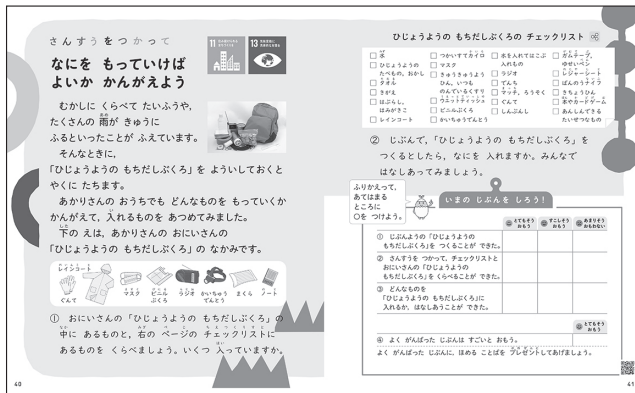
→下 p.23

特色 3

ひろがる

社会にひろがる

学びの中や生活の中から見つけた問題を解決しながら身につけた算数の知識が、また生活の中にひろがっていくことを実感できるよう、各学期の終わりの「さんすうをつかって」でSDGsに関連した題材を扱い、社会の形成に参画する態度や、環境の保全に寄与する態度、伝統と文化を尊重する態度などを養うことができるようにしました。



→下 p.40-41



→下 p.82-83

2 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
全単元	<ul style="list-style-type: none"> 教材の選択にあたっては、児童の生活に根ざし、豊かな情操と道徳心が養われるように配慮しました。(第一号) 男女平等の精神にのっとり、教科書に掲載する男女児童の名前はすべて「さん」付けとしました。(第三号) 4人の成長するキャラクターを設定し、協力して課題を解決していく様子を示すことにより、自他を敬愛し協力を重んずる態度の育成に配慮しました。(第三号) 	全般
入門期	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな動植物たちを掲載し、生命や自然を大切に育んでいけるように配慮しました。(第四号) 	上 p.2 ~ 17
① 10までの数	<ul style="list-style-type: none"> おはじきを使って数を数える活動を通して、伝統と文化を尊重する態度を養うことができるように配慮しました。(第五号) 	上 p.27 ~ 28
② いくつといくつ	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな動物のいる位置を表現することで、生命や自然を大切に育んでいけるように配慮しました。(第四号) 	上 p.32 ~ 33
③ なんばんめかな	<ul style="list-style-type: none"> 他者がした工夫を認めるとともに、それを自らの学びに活かそうとする態度を養うことができるように配慮しました。(第一、第三号) 	上 p.40 ~ 41 上 p.58 ~ 59
④ あわせていくつ ふえるといくつ		
⑤ のこりはいくつ ちがいはいくつ		
○さんすうをつかって	<ul style="list-style-type: none"> 他者の作成した問題の発表を聞き、自らの学びに活かそうとする態度を養うことができるように配慮しました。(第一、三号) 	上 p.70 ~ 71
⑥ いくつあるかな	<ul style="list-style-type: none"> 果物を題材として扱うことで、健やかな身体を養うことに気づくことができるように配慮しました。(第一号) 	上 p.72 ~ 73
⑦ 10よりおおきい かずをかぞえよう	<ul style="list-style-type: none"> 自然の中のりすやどんぐり、花の数を数える活動を通して、生命や自然を大切に育んでいけるように配慮しました。(第四号) 	上 p.74 ~ 76
⑧ なんじなんじはん	<ul style="list-style-type: none"> 自分の生活を振り返るような展開とすることで、生活していく上で自ら計画を立てる自主及び自律の精神の育成に配慮しました。(第二号) 	上 p.86

⑨かたちあそび	・形を使った活動の中で、創造性を培うとともに、自他の協力を重んずる態度を養うことができるように配慮しました。(第二,三号)	下 p.2 ~ 5
⑩たしたりひいたりしてみよう	・バスに乗る場面を設定することで、社会の形成に参画する意識を育むことができるように配慮しました。(第三号)	下 p.6
⑪たしざん ⑫ひきざん	・たし算カードやひき算カードを使って、クラスでゲーム活動を行うことで、他者との協力を重んずる態度を養うことができるように配慮しました。(第三号)	下 p.16 ~ 17 下 p.25 ~ 26
⑬くらべてみよう	・身のまわりから長さ,かさ,広さの比較に目を向ける場面を扱うことで、真理を求める態度を養うことができるように配慮しました。(第一号)	下 p.30
○さんすうをつかって	・非常用持ち出し袋を題材として扱うことで、生命を尊ぶ態度を養うことができるように配慮しました。(第四号)	下 p.40 ~ 41
⑭かたちをつくろう	・色板や棒を使ったいろいろな形作りを通して、創造性を培うことができるように配慮しました。(第二号)	下 p.42 ~ 45
⑮大きいかずをかぞえよう	・水槽の中にいる魚の数を数える活動を通して、生命を尊ぶ態度を養うことができるように配慮しました。(第四号)	下 p.50
⑯なんじなんぶん	・朝から夕食までの時間について話をするすることで、豊かな情操と道徳心を培うことができるように配慮しました。(第一号)	下 p.60
⑰たすのかなひくのかな ずにかいてかんがえよう	・牧場にて牛を観察する場面,山登りの場面を取り上げることで、自然を大切にす態度や、生命を尊ぶことができるように配慮しました。(第四号)	下 p.63 ~ 64
⑱かずしらべ	・図書室で借りた本の数を題材とすることで、幅広い知識と教養を身につけることができるように配慮しました。(第一号)	下 p.72 ~ 73
○さんすうをつかって	・消費期限,賞味期限を題材として扱うことで、環境の保全に寄与する態度を養うことができるように配慮しました。(第四号)	下 p.82 ~ 84

3 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

○ユニバーサルデザインへの配慮

- ・全体的に UD フォントを使用することで、これまで以上に読みやすく、すべての児童が理解しやすい文字になるように配慮しました。
- ・すべての文章を分節改行にすることで、誰もが読み取りやすく、問題解決をすることや、それらを考察することに重点をおけるように配慮しました。
- ・カラーユニバーサルの観点を取り入れ、目に優しく判別のしやすい色使いをすることで、見やすく使いやすい紙面づくりに配慮しました。また、写真やグラフなどでは、色の名前を入れたり形を変えるなど、明確に区別できるように配慮しました。

○人権への配慮

- ・キャラクターや活動の場面などで、男女や特定のキャラクターに偏らないように配慮しました。
- ・いろいろな国の子どもたちを活動場面に入れることで、みなが平等に活動できるように配慮しました。

○ICT 活用への配慮

- ・タブレットなどの ICT 機器を利用した活動を行うことができる箇所には「QR コード」を付すことにより、デジタルコンテンツ等があることを視覚的に容易に判別できるように配慮しました。また、それぞれのデジタルコンテンツがどのような活動を行えるかわかりやすいよう、マークをそれぞれの活動に応じた形にすることで、使いやすさにも配慮しました。※ QR コードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

○生活や日本の伝統文化への配慮

- ・児童の視野を、学年を追うごとに学校,地域社会,日本,世界へと広げていけるように配慮し、日本の文化,外国の文化を理解しようとする態度を養うことができるようにしました。また、それらの題材は、生活に深く関わる文化や環境といった内容を取り上げ、それらの基礎的な理解を養うことができるように配慮しました。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104 - 130	小学校	算数	算数	1
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名		
11 学図	算数 116・117	みんなとまなぶしょうがっこうさんすう1ねん上・下		

1 編集上特に意を用いた点や特色

1 主体的・対話的に学びたくなる

問題解決をするとき、与えられた問題を解くのではなく、自分たちが解決したいと考えながら問題に取り組むことが、これからの生きる力に役立つ大切なことだと考えています。

そのために、児童の興味・関心を引き出すイラストや写真を多用し、主体的に取り組むことができるようにしました。

入門期から単元1の10までの数を学ぶ場面では、大きな木のイラストを使って上に登っていくというイメージとともに、数を数えたり、1対1対応での比較ができるようにしたりすることで、児童が楽しみながら主体的に数概念を獲得することができるような構成としました。



2 基礎・基本を身につけ、算数を深めたいくなる

算数の学習に限らず、基礎的・基本的な知識を身につけておくことは、その後の問題解決に必ず役立つと考えています。また、苦手な内容を把握しておくことで、基礎・基本を自分たちの中でより確かなものとし、そこからさらに学習を深める態度を養うことができると考えています。

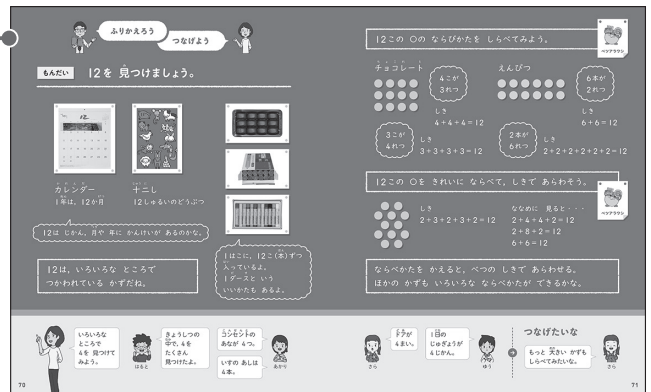
そのために、本文の問題以外の特設ページにおいても、個に応じた学習ができるようにしました。

巻末では「もっとさんすう」の中に「ほじゅうもんだい」のページを設け、基礎・基本の確実な習得ができるようにしました。



→下 p.85

特設ページとして、「ふりかえろう つなげよう」のページを設定し、これまでの学習をふりかえりながら統合的・発展的に学びを深め、次の学習へとつなげていけるようにしました。



→下 p.70-71

3 見方・考え方を使いたくなる

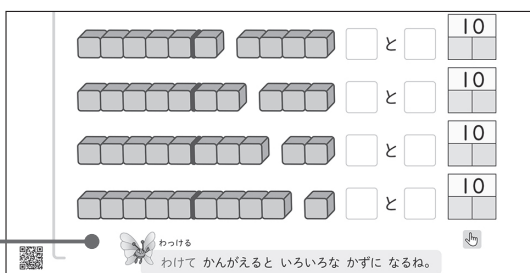
問題を解決するとき、どのような見方をすればよいか、どのような考え方をすればよいかということをも身につけることも大切だと考えています。さらにそれ以上に、身につけた見方・考え方を使えるようになることが、今後の学習や生活の中で大変役立つものになると考えています。

そのために、よく使われる代表的な見方・考え方を「かんがえかたモンスター」としてキャラクター化して、児童が使いたくなるようにしました。

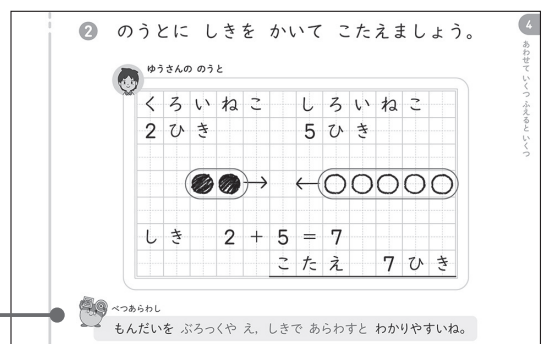


→下 p.98

本文中の適切な箇所に、どのような考え方をしているかを具体的に例示することで、どのような場面で見方・考え方をを使って問題解決をしていくことができるのかがひと目でわかるようにしました。



→上 p.30



→上 p.41

下巻巻末では、その学年で見つけた「**かんがえかたモンスター**」を、「見方・考え方」ごとにまとめるページを設定することで、異なる領域でも同じ「見方・考え方」を見つけてきたことがわかるようになりました。



→下 p.97-98



→下 p.99-100

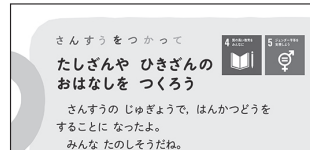
4 SDGs を考え、社会に目を向けたくなる

算数で学習したことを算数の中で留めるのではなく、生活の中で活かすことができるようになることが大切だと考えています。特に、自分たちが学んできた算数が社会に役立つことを意識できるということは、学ぶ意欲にもつながるものだと考えています。

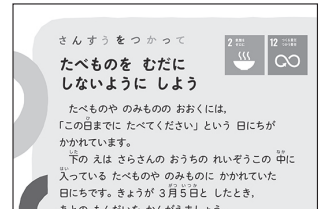
そのために、学期末に特設ページ「**さんすうをつかって**」のページを新設し、これまで学んできた算数の学習内容だけでなく、その問題解決の過程で見つけた見方・考え方や、解決のしかたを活用して、SDGs をベースとしたさまざまな課題に取り組むことができるようにしました。



→下 p.40-41



→上 p.70



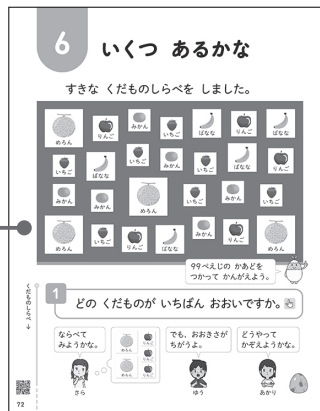
→下 p.82

5 統計を使った課題解決をしたくなる

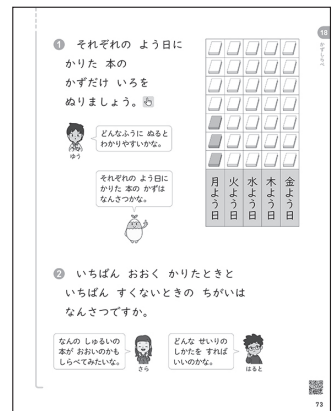
統計学習の充実は、これからの社会を生きていくために重要であり、表やグラフを学ぶだけでなく、何を、どのように、どう解決するかを考えていくことが大切だと考えています。

そのために、統計単元の学習は、「整理」と「活用」の2つの単元に分け、知識としての表やグラフを学ぶとともに、それをどう活用して問題解決に活かすかを学ぶことができるようにしました。

統計単元では、児童の話し合いから問題を見つけ、それを解決していく過程が見えるように、吹き出しや話し合いの場面を多く取り入れました。



→上 p.72



→下 p.73

観点別特色一覧

教育基本法の遵守	・教育基本法の趣旨を十分に反映した編集をしました。【全体】
学習指導要領の遵守	・学習指導要領に記載された内容をすべて網羅し、児童がより理解しやすいように配慮した編集をしました。【全体】
知識・技能の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・数学的活動を通して学習を進めることで、知識・技能を教え込むのではなく、児童自らが率先して学びに取り組み、自然に知識を身につけ、さらに身についた学習内容を確認できるよう、練習問題を配置しました。【全体】 ・児童がつまずきやすい内容を扱う際は、段階的に理解できるようにすることで、すべての児童が無理なく知識・技能を身につけられるようにしました。【全体】 ・巻末に「もっとさんすう」のページを設け、補充的・発展的に課題に取り組むことができるようにしました。【上巻巻末、下巻巻末】
思考力・判断力・表現力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・思考力を育むために、随所に多様な考え方を示しました。【上 p.40, 下 p.14 など】 ・言葉での説明、ブロックや図を使った説明などの活動を随所に取り入れることで、さまざまな表現力を育むことができるように配慮しました。【上 p.49, 下 p.55 など】
学びに向かう力の育成	・身のまわりの題材や、児童の興味・関心に応じた題材を扱うなど、積極的に算数の学習に取り組み、さらにそれを身のまわりの事象などに還元することができるように配慮しました。【上 p.58, 86, 下 p.30 など】
主体的・対話的で深い学びの実現	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が主体的に算数の学びに取り組めるよう、導入や各題材において、身のまわりや算数の学習の中で疑問に思うことを取り上げ、それを解決したいという気持ちが生まれるようにしました。【各単元導入など】 ・他者の意見を考察する場面や話し合いの場面を多く扱い、イラストなどでも補助的に話し合い場面を挿入することで、意識的に対話的な学びが実現できるようにしました。【上 p.72, 下 p.26 など】 ・巻末の「ふかめよう」や、特設ページとしての「ふりかえろう つなげよう」の学習において、これまで学んできたことを、統合的・発展的に深化できるようにしました。【上 p.97, 下 p.70-71 など】
見方・考え方の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・学びの中から見方・考え方を見つけていけるように、代表的な見方・考え方を「かんがえかたモンスター」として具現化し、適宜それを本文中に示すことによって、児童が自然に活用することができるように配慮しました。【全体】 ・下巻巻末には、「1年生で見つけたみかた・かんがえかた」をまとめたページを設定し、さまざまなところで見つけ活用してきた見方・考え方が、どのような場面で扱われてきたかを振り返ることができるようにしました。【下巻巻末】
学びの接続・系統・連続性	・単元の学習では、次の学びにつながる吹き出しを挿入することで、今日の学びが明日の学びにつながっていく算数の系統性を意識できるように配慮しました。【単元全体】
組織・配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ・連続して扱うことで身につく学習内容と、スパイラルを意識することで身につく学習内容を選別し、より児童が学びやすいような単元配列になるようにしました。【全体】 ・本文と練習問題の分量のバランスや、無理のない時数配分に配慮し、児童が学習内容を確実に身につけることができるようにするとともに、つまずきやすい内容には十分に配慮した配列になるようにしました。【全体】
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・単元末の「できるようになったこと」では、自己評価ができるようなチェック欄を設けるとともに、それが評価につながるよう配慮しました。【各単元末】 ・各学期末にパフォーマンス課題及びパフォーマンス評価の手法を取り入れ、個に応じた評価ができる場面を設けるとともに、自己評価もできるようにしました。【各学期末】
さまざまな教育課題への取り組み	・食育や防災教育に取り組めるよう、「さんすうをつかって」のページでは、賞味期限や消費期限を使った題材や、非常用持ち出し袋について考察する課題を取り扱いました。【各学期末】
ICT への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜、活動や思考の補助になるようなデジタルコンテンツを用意し、タブレット等で活用できるようにしました。【全体】 ・プログラミング的思考を身につけるため、学年末に「プログラミングのプ」を設定しました。【下 p.80-81】

ユニバーサルデザインへの取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・UD フォントを使用することで、これまで以上に読みやすく、すべての児童が理解しやすい文字になるように配慮しました。【全体】 ・すべての文章を分節改行にすることで、誰もが読み取りやすく、問題解決や思考に重点をおけるようにしました。【全体】 ・カラーユニバーサル観点を取り入れ、目に優しく判別のしやすい色使いをすることで、見やすく使いやすい紙面づくりに配慮しました。また、写真やグラフなどでは、色の名前を入れたり形を変えるなど、明確に区別できるように配慮しました。【全体】
人権への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェンダーや人権に対し、差別を助長することがないように、男女のイメージが固定化しないようなイラスト・写真を使用したり、いろいろな国の児童のイラストを使用するなど配慮しました。【全体】
印刷・用紙・製本	<ul style="list-style-type: none"> ・AB版を採用することで、開きやすく、作業や書き込みなどがしやすい製本としました。【全体】 ・用紙やインクは環境に配慮したものを採用しました。【全体】

2 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
上巻			
入門期	A(1) ア(ア)	p.2-5	2
① 10までのかず	A(1) ア(ア) (イ) (ウ)	p.6-23	7
② いくつといくつ	A(1) ア(イ)	p.24-31	4
③ なんばんめかな	A(1) ア(イ)・B(1) ア(ウ)	p.32-35	2
④ あわせていくつふえるといくつ	A(2) ア(ア) (イ) (ウ)	p.36-53	12
⑤ のこりはいくつちがいはいくつ	A(2) ア(ア) (イ) (ウ)	p.54-69	12
○さんすうをつかって	A(2) ア(イ) イ(ア)	p.70-71	1
⑥ いくつあるかな	D(1) ア(ア) イ(ア)	p.72-73	1
⑦ 10よりおおいかずをかぞえよう	A(1) ア(イ) (ウ) (イ) (オ) (キ) (ク) イ(ア)	p.74-85	7
⑧ なんじなんじはん	C(2) ア(ア) イ(ア)	p.86-87	2
下巻			
⑨ かたちあそび	B(1) ア(ア) (イ) イ(ア)	p.2-5	5
⑩ たしたりひいたりしてみよう	A(2) ア(イ) イ(ア)	p.6-9	3
⑪ たしざん	A(2) ア(ウ)	p.10-18	9
⑫ ひきざん	A(2) ア(ウ)	p.19-29	10
⑬ くらべてみよう	C(1) ア(ア) (イ) イ(ア)	p.30-39	7
○さんすうをつかって	A(1) ア(ア) イ(ア)	p.40-41	1
⑭ かたちをつくろう	B(1) ア(イ) イ(ア)	p.42-45	4
⑮ 大きいかずをかぞえよう	A(1) ア(イ) (ウ) (オ) (カ) (キ) (ク) イ(ア)・A(2) ア(イ)	p.46-59	11
⑯ なんじなんぶん	C(2) ア(ア) イ(ア)	p.60-62	2
⑰ たすのかなひくのかなずにかいてかんがえよう	A(1) ア(ウ)・A(2) ア(ウ) イ(ア)	p.63-69	5
○ふりかえろうつなげよう	A(1) ア(ウ) イ(ア)	p.70-71	1
⑱ かずしらべ	D(1) ア(ア) イ(ア)	p.72-73	1
⑲ 1年のまとめをしよう	A・B・C・D	p.74-79	3
○プログラミングのプ		p.80-81	1
○さんすうをつかって	A	p.82-84	1

計 114 (予備時数 22)

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104 - 130	小学校	算数	算数	1
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名		
11 学図	算数 116・117	みんなとまなぶしょうがっこうさんすう1ねん上・下		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取り扱いに示す事項	ページ数
	なし			
合計				0

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容